

Profile

- ・2021年 専修大学熊本玉名高等学校卒業
オーストラリア 職業訓練校TAFEの付属語学
学校(オンライン)「English Language Centre」
一般英語コース、進学英語コース修了
- ・2022年 TAFEイベントマネジメントコース修了
- ・2023年 キャンベラ大学ツーリズム& イベントマネジ
メント学士コース編入



教えて!

海外進学先での生活



思い描いた留学生生活をエンジョイ
将来は学校と職場で学んだ
観光イベント業の面から社会貢献

友人と旅行にいった
ケアンズにて

Chance
[チャンス] 海外進学のきっかけ

私が海外進学を選んだ理由は、コミュニケーション
ツールとして生きた英語を学びたかったからです。

Challenge
[チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

高校時代はコロナ禍で海外に行けるような情勢ではな
く、海外進学するべきか、かなり悩みました。最終的には、
高校1年生から3年間参加した熊本県の海外チャレンジ塾
での出会いや学び、サポート環境も海外進学を決める後押
しとなり、海外進学を決意しました。留学プランは海外
チャレンジ塾の先生や民間の海外留学センターのカウン
セラー、学校の先生、親とも相談した上で既に決めていた
ので、海外進学決定後は大きな問題もなく物事が進んだと
記憶しています。

TAFEの「English Language Centre」でイベントマネジメ

ントコースを修了し、単位を取得できたことで、キャンベ
ラ大学のツーリズム& イベントマネジメントの学士コー
スに編入しました。学校の課題は大変ですが、周囲の支え
もあって思い描いた留学生生活を送れています。

Chance
[チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

アルバイト先のイベント観光業の職場では世界各国の
人たちと働いていて常に新しい発見ばかりです。1年間お
世話になったホームステイ先の家族も優しく、週末には
バーベキューを楽しんだり、映画やビーチに行ったりと
「これぞオージー(オーストラリア)！」といった生活を送
ることができました。

私の留学生活の中で一番幸運だと思うのは、人と環境
に恵まれたことです。これまで出会った方々への感謝の
気持ちを忘れず、将来はイベント観光業の面から社会貢
献できればと考えています。

■留学生の生活環境

シドニーにはさまざまな国と地域から人が集
まっているので、学校も留学生への対応に慣れてい
る印象です。物価や家賃が高く、シェアハウスをし
ている人も多いようです。現在、学生ビザでは2週間
で48時間の労働が認められているため、ほとんどの
留学生が学びながら働いています。

■休日の過ごし方

学校がない日はホテルの宴会部門のスタッフと
して働いています。シドニー市内でも大きなボール
ルームを持つホテル。結婚式の披露宴やガラディ
ナーをはじめ、展示会や会議などさまざまなイベ
ントが行われ、学校での学びを実践できる、いい経験



働いているホテルの披露宴会場の様子



私が大好きなシドニーの風景



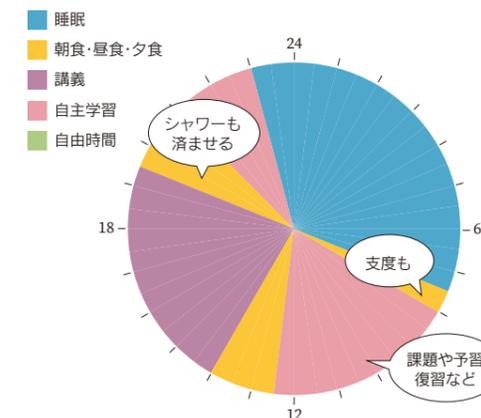
会
社
の
ス
タ
フ
と
の
パ
ー
ティ
で
仲
の
い
い
友
人
と
パ
チ
リ
(右)



休
み
の
日
に
友
達
と
よ
く
訪
れ
る
カ
フェ

の場になっています。学校も仕事も休みの場合は友
達とカフェやビーチに行くなどシドニーでの暮ら
しを満喫しています。

ある日の1日



先輩へのメッセージ

新たな一歩と出会いを大切に

私の留学生活は道半ばですが、自信を持って「今、充実した日々を過ごしている」と断
言できます。夢を実現できるかどうかは本人の行動力はもちろんのこと、周りのサポ
ートや環境も大切だと感じています。私の海外進出もそうですが、一歩踏み出すことで新
たな出会いやきっかけが生まれ、人生が変わることは誰にでもあるはず。だからこ
そ、その一歩と出会いを大切にしてほしいと思います。





充実したキャンパスライフ
多様性に富んだカナダは
やっと見つけた私の居場所

本山さんの誕生日
パーティーの様子
(右から4番目)

Chance [チャンス] 海外進学のきっかけ

中学2年生の頃から熊本県の海外チャレンジ塾に参加し、海外大学に関する話を聞く機会が増えたことで海外進学を視野に入れるようになりました。海外の大学生との交流やTOEFL対策講座を受講するうちに、漠然とした海外大学への憧れが現実味を帯び、本格的に海外進学を目指すことにしました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

一番苦労したことは英語力の向上と大学の情報集め。放課後や休日はそのために多くの時間を費やしました。大学にはTOEFL iBTの点数を提出する必要があったため、毎週開講されるTOEFL対策講座に加え、ひたすら演習を繰り返して問題に慣れるようにしました。周囲には海外進学に精通した人がいなかったため、海外チャレンジ

塾の先生やプリティッシュコロンビア大学に進学した先輩方から助言をもらったり、大学のホームページから出願に必要な情報を自力で集めたりしながら、常に情報収集を意識して高校生活を送りました。

Chance [チャレンジ] 海外進学を機に変わったこと

日本では生きづらさを感じていた私ですが、多様性に富んだカナダに来たことで毎日楽しく大学生活を送っています。学内を歩けばさまざまな言語が聞こえてくるし、授業では右にカタール人、左に韓国人、教授がメキシコ人と多国籍な人々に囲まれ、グループディスカッションを行えば、まるで小さな国連です。

将来については未定ですが、現時点では外交官などの国際関係の仕事や編集関連の仕事に興味を持っています。これからインターンシップや大学での活動を通して、じっくり将来について考えていきたいと思っています。

教えて！

海外進学先での生活



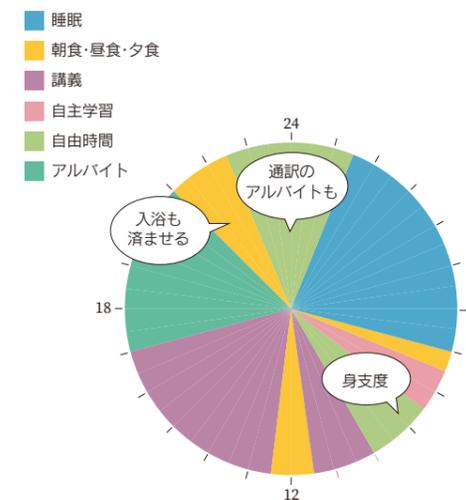
■ 留学生の生活環境

プリティッシュコロンビア大学は北米の中で最も国際的な大学なので、学生ビザやパスポートの有効期限を大学が定期的リマインドしてくれるなど留学生へのサポートが充実しています。大学1年生は大学寮に住む人の割合が多いですが、2・3年生からアパートメントに住む学生が多いです。

■ 休日の過ごし方

友人と食事やショッピングに出かける日もあれば、家で1日中ゆっくり過ごすこともあります。テスト前は朝から晩まで大学のキャンパスか自宅で勉強をします。長期休暇のときはカナダ国内やアメリカへ旅行に行くこともあります。

ある日の1日



U
B
C
サ
イ
ン
キャンパス内の至る所にある



キャンパス内の学習室で友人とテスト勉強をしている様子



キャンパス内。天気の良い日は池周辺で勉強する学生が多い



先輩へのメッセージ

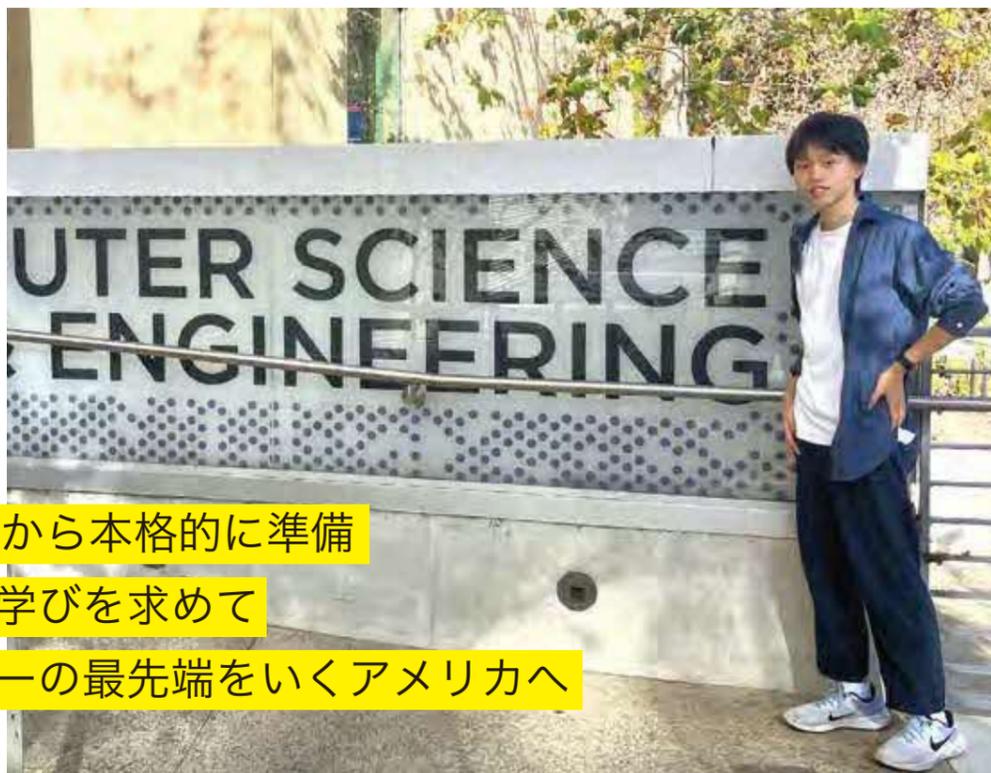
周囲の助けを借りて頑張る

皆さんが求めている大学、そして皆さんを求めている大学は日本の外にあるかもしれません。私はカナダで自分の居場所を見つけることができました。海外進学までの過程は大変ですが、困ったときには周囲に助けを求めながら、息抜きも忘れず頑張ってください。“Good things take time. Trust the process.” カナダから応援しています！

在 学 生
CASE 07

カリフォルニア大学
サンディエゴ校
YOSHINO TAIKI
吉野 泰生さん

Profile
・2022年 宇土高等学校卒業
アメリカ カリフォルニア大学サンディエゴ校
工学部コンピューターサイエンス学科入学



高校 2 年生から本格的に準備

自分が望む学びを求めて

テクノロジーの最先端をいくアメリカへ

Computer Science Buildingにて

Chance [チャンス] 海外進学のかきかけ

私は高校時代にコロナ禍におけるオンライン教育を経験したことで、テクノロジーを用いて教育を支援するEdTech(エドテック)の分野に興味を持ち始めました。さらに高校在学中に東京大学の教育AIに関する研究プログラムに参加する中で、アメリカの研究の先進性や情報と計算の論理的基礎CS(コンピューターサイエンス)と教育学を組み合わせた独自のカリキュラムがあることを知り、海外進学を選択しました。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

アメリカの大学入試では、学校の成績をはじめ、TOEFLなどのテスト、課外活動や受賞歴、エッセイ、推薦状など多くの項目が評価されるため、高校2年生の頃から本格的に準備を始めました。特に私はスピーキングが苦手だっ

たので、週1回のオンライン英会話に加え、高校のALTとスピーキングの練習を毎朝行っていました。また、アメリカでは近年学費が高騰しているため、奨学金を受けることも留学の必須条件でしたが、幸い柳井正財団の奨学金プログラムに合格し、また、県の海外大学進学給付金もいただき、海外進学の道が開けました。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

大学での学びは、絶えず新しい挑戦と発見の連続です。アメリカにおける多様なコミュニティや自発的な発言と行動を求められる環境は、人間的な成長とリーダーシップを磨く機会となっています。将来の目標は、EdTech研究者としてAI技術を活用し、学生一人一人に最適な学びを提供することです。アメリカでの学びと経験を生かし、次世代の子どもたちにとってより良い学びをつくりだすことに貢献したいと考えています。

教えて!

海外進学先での生活



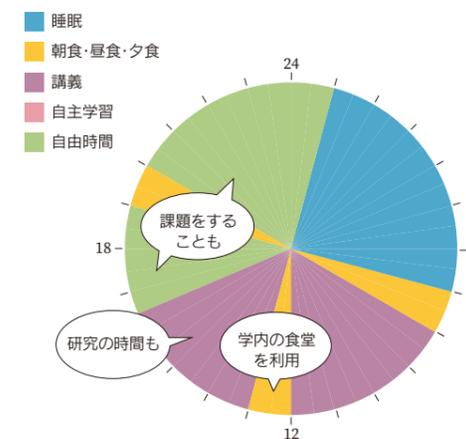
■ 留学生の生活環境

私の通っている大学は留学生の割合が高く、特に中国や韓国といったアジア系の学生が多いのが特徴です。また、アジアマーケットが近くにあるため、日本食が手に入りやすい環境なのもうれしいポイントです。

■ 休日の過ごし方

土日はプログラミング課題やグループ課題があるため、休日らしい休日はなかなか取れないことがほとんど。学期間の長期休暇の時は、バスケットボールのNBAや野球のメジャーリーグの観戦を楽しんでいます。

ある日の1日



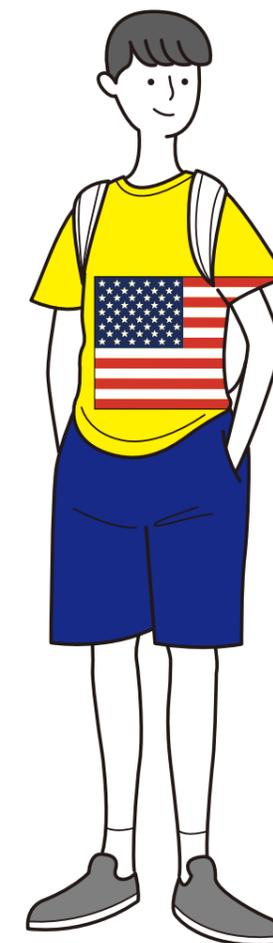
教育学のファイバードワークをした現地の高校



授業の風景



長期休暇の時にはNBA観戦を楽しんでいます



先輩へのメッセージ

自分と向き合う時間を大切に

海外進学という選択肢には不明なことが多いため、不安や孤独を感じることも多いかもしれません。しかし、その中で自分と向き合い「自分は何が好きなのか」「何をしたいのか」「なぜしたいのか」などを考える時間と経験は、非常に価値のあるものだと思います。他人や先輩の真似ではなく、自分が納得できる選択肢について、多くの時間を使って考えてみてください。

Profile
・2022年 尚綱高等学校卒業
アメリカ バイラー大学航空科学学部
航空行政学科入学



航空先進国であるアメリカで
業界で活躍するための
知識や技術を習得

友達と「ターゲット」というお店に買い物に出かけた時の一コマ (左から2番目)

Chance [チャンス] 海外進学のかっかけ

私がアメリカへの海外進学を決めた理由は主に3つあります。①英語力の向上を目指す②日本では珍しい最先端の航空学を専攻できる③日本の外の世界を見てみたいーと考えたからです。

Challenge [チャレンジ] 進学に向けて頑張ったこと

高校では私が初めて海外進学にチャレンジする生徒だったので、先生方と一緒に手探りで出願準備をスタート。熊本県の海外チャレンジ塾では、自分の希望に沿った情報を得ることができ、一人での出願も安心して進めることができました。進学先は海外チャレンジ塾の先生方に相談したり、インターネットでさまざまな大学のホームページを読みあさったりして絞り込んでいきました。TOEFLのスコアが伸び悩んだ時期もありましたが、自分

好みの単語帳を使って空いた時間に暗記し、何度も受験することで目標スコアを取ることができました。

Chance [チャンス] 海外進学を機に変わったこと

海外に行って感じたことは、思っていたよりも文化の壁が大きいということです。アメリカは多民族・多国籍国家ですが、周りを見ているとバックグラウンドが似た人同士でよく集まっている印象で、私もアジア人とは友達になりやすい傾向にあります。また、自分から発信しないことには誰も助けてはくれません。好き、嫌いなど日本では言いにくいことでも、思い切ってはっきり意思表示することが大切です。

今一番の目標は大学を卒業することですが、卒業後は最大1年間までアメリカに滞在して専攻と同じ分野の仕事に就けるOPT(Optional Practical Training)という制度を活用して、航空分野の就労経験を積みたいと考えています。

教えて！

海外進学先での生活



■留学生の生活環境

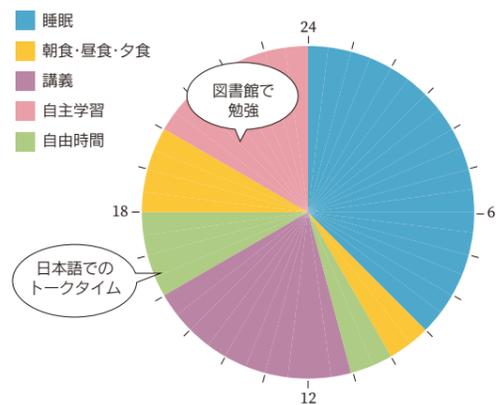
日本人留学生は少ないですが、日本人同士みんなで助け合って生活しています。何か困ったことがあれば、留学生向けのオフィスや日本人の教授に相談しています。また、ハロウィーンや季節のカボチャ彫りや、ホームカミングという文化祭のようなイベントでのパレードなどが楽しめる留学生向けのイベントが年に数回開催されます。

■休日の過ごし方

友達とリラックスした時間を過ごしています。時間がある時はダラスという大きな街に遠出をして、ショッピングをしたりアジア料理を楽しんだりし

ています。キャンパスに大きなスタジアムがあり、アメリカンフットボールの試合を観戦することもあります。

ある日の1日



大学でカヌー体験を楽しむことも



空港で操縦訓練をしている様子



大学の一大イベントでもあるアメリカンフットボールを観戦した時の様子



バイラー大学の主要校舎



先輩へのメッセージ

同じ目標を持った仲間との出会いを大事に

海外進学の道は仲間が多いわけでもなく、情報も少ないので苦労することも多いと思います。しかし、苦労した分、大学在学期間中の経験は何倍もの価値ある経験となって返ってくると思います。海外チャレンジ塾では、同じ目標を持った熊本の仲間と将来について共に考えることができるので、この機会を活用して目標に対して一歩ずつ近づいてほしいです。私も卒業生として、皆さんを応援しています！